

社員のボランティア活動

日本ユニシスグループでは、社員一人ひとりが考え、行動することにより、地域や社会に貢献していけるようなボランティア活動を支援しています。

社会貢献クラブ「ユニハート」を設立

日本ユニシスグループでは、社会貢献活動の輪をグループ社員一人ひとりにもっと広げていこうと、2006年4月に社会貢献クラブ「ユニハート」を設立しました。この取り組みはグループ社員有志によるもので、チャリティイベントの開催や、会員からの毎月の募金積み立てによるNPOなどへの寄付を行っています。

「バレンタインデー・ホワイトデー特別企画」を開催

恒例となったバレンタインデーとホワイトデーに合わせた社内販売会を、2007年2月9日と3月13日に行いました。今回は、江東区の知的障害者通所授産施設「のびのびフーズ」のクッキーと、江東区の中途障害者通所授産施設「すこやか作業所」の防臭除湿グッズを販売しました。



ユニシススペシャルクッキー
(のびのびフーズ)



社内販売会

2006年度の寄付

2006年度の寄付先は下記の通りです。

会社からの同額のマッチングギフトを合わせ、寄付総額は200万円になりました。

2006年度の寄付先一覧

団体名	
NPO	視覚障害者パソコンアシストネットワーク
バリアフリー映画鑑賞推進団体	シティライツ
財団法人	世界自然保護基金ジャパン WWF Japan
財団法人	日本フォスター・プラン協会(プラン・ジャパン)
財団法人	日本ユニセフ協会
NPO	フローレンス
NPO	子どもの命と心のネット長谷健頭彰会
NPO	ファミリーハウス

「盲導犬育成支援のためのチャリティグッズ販売会」を開催

2006年10月に日本ユニシス本社で、盲導犬支援センターのチャリティグッズ販売会を行いました。販売会は全国へ広がり、2006年8月に中部、11月に九州、2007年2月には関西、と各地の支社で実施されました。



チャリティグッズ販売会



チャリティグッズ

COMMENT ユニハート参加者から

盲導犬募金箱を設置しました

中国支店では、「盲導犬募金箱」を仮設置したところ、短期間で大きな反響があったため、2006年7月下旬から常設設置しています。募金箱は自動販売機の隣に置き、コーヒー代のおつりや小銭を入れてもらっています。2007年度は、盲導犬チャリティグッズ販売会を実施したり、また地域のグループ会社にも活動を



広げていきたいと思っています。夢は大きく、「中国支店で盲導犬を1頭育てよう!」です。

日本ユニシス 中国支店
業務推進室
佐々木 敬子(右)

●日本ユニシスグループと盲導犬育成支援

日本ユニシスでは、1998年から毎年、ヴァイオリニスト川島成道さんのコンサートに目の不自由な方をご招待し、社員ボランティアが会場内外でサポートする活動を続けています。こうした交流をもとに、募金箱の設置やチャリティグッズの販売、チャリティコンサートの開催などにより、(財)日本盲導犬協会を通じて盲導犬育成を支援しています。2006年度の募金額は、364,481円となりました。また、チャリティグッズの売上は598,900円でした(売上の10%が販売元の盲導犬支援センターを通じて(財)日本盲導犬協会に寄付されます)。

ITで、スポーツ・音楽振興

健康や心の豊かさをもたらしてくれるスポーツや音楽。
日本ユニシスグループは、ITを活用してスポーツや音楽振興を支援しています。

「トマス杯&ユーパー杯ジャパン2006」に 試合結果速報システムを提供

2006年5月に、仙台と東京で開催されたバドミントン国別世界選手権トマス杯&ユーパー杯。日本ユニシスグループは、この大会をITの側面から支援すべく、インターネットによる試合経過と結果の速報システムを提供しました。東京大会では、日本ユニシス実業団チームの選手がスコア入力を担当し、白熱する試合経過を、世界中のファンに瞬時に配信することができました。

COMMENT システム担当者から

とくに力を入れた「一球速報」

機器調達から運用まで、日本ユニシスグループの総合力が問われるプロジェクトでしたが、グループ内の関連部門の協力・連携によってトラブルも乗り越え、システムをトータルかつスピーディに提供できました。

とくに力を入れた「一球速報」には、海外の一般ファンからも良くできていると評価をいただきました。私自身スポーツ好きで、日頃から世界のスポーツ情報にインターネット経由で一喜一憂しているので、今度は情報を発信する側に回り、世界中の方に楽しんでいただけたことを大変嬉しく思っています。



ユニアデックス
企画部
青木 隆(左)

●日本ユニシス実業団バドミントン部

2006年度は、団体戦の国内2大タイトルである「全日本実業団バドミントン選手権大会」と「バドミントン日本リーグ」をともに制しました。

また、国内外の試合で活躍する実業団日本一の選手たちが、地域の子供たちやジュニアの指導者のみなさんを対象に、バドミントン講習会を開催しています。2006年度の開催は全7回。地元江東区のほか、山口県や沖縄県などでもバドミントンの楽しさを伝えました。

 [日本ユニシス実業団バドミントン部
http://www.unisys.co.jp/BADMINTON/](http://www.unisys.co.jp/BADMINTON/)



日本ユニシス実業団バドミントン部

ウィーン少年合唱団をサポート

毎年約2カ月にわたる日本公演の間、家族から遠く離れて生活をするウィーン少年合唱団のみなさん。彼らが寂しい思いをせずにコンサートにのぞめるよう、2006年4月から6月まで、家族や友人と電子メールをやりとりしたり、インターネットを楽しめる環境を提供しました。ウィーン少年合唱団のみなさんは、定評のある清らかな天使の歌声で日本全国のファンを魅了し、元気に帰国していきました。



ウィーン少年合唱団の
公演ポスター

 [日本ユニシスグループの社会貢献活動
http://www.unisys.co.jp/csr/philanthropy/](http://www.unisys.co.jp/csr/philanthropy/)